

漁港は
魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成23年4月15日 発行
毎月 1回15日発行
編集兼 社団法人 全国漁港漁場協会
発行人 田中潤児
東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
電話 東京(5114)9981
定価 1部 70円
(会員の購読料は会費の中に含む)

東日本大震災 漁港・漁村に壊滅的打撃

◎漁船の被害状況

現在判明しているものであり、今後大幅に増加する見込み。

	漁船保険加入 隻数(隻)	被災漁船数(隻) (県からの報告)	被害報告額
北海道(根釧、 日振勝、道南)	16,293	703	1,591百万円
青森県	6,990	546	519百万円
岩手県	10,522	壊滅的被害 (4市町村からの報告では現在の ところ 4,014)	7,000百万円
宮城県	9,717	壊滅的被害 (宮城県の報告では、登録漁船数 13,570のうち12,011が被災)	105,248百万円
福島県	1,068	896	調査中
茨城県	1,215	249	調査中
千葉県	5,640	335	488百万円
東京都	897	3	調査中
富山県	1,038	8(被災地で係留中に被害)	調査中
石川県	3,500	1(被災地で係留中に被害)	調査中
静岡県	5,473	10	調査中
愛知県	4,991	8	調査中
三重県	7,536	26	20百万円
和歌山県	3,855	6	2百万円
鳥取県	1,219	2(被災地で係留中に被害)	調査中
徳島県	3,551	4	1.85百万円
高知県	4,088	25	14百万円
大分県	5,258	2	65百万円
宮崎県	2,442	20	29百万円
鹿児島県	7,404	3	調査中

注：漁船保険加入隻数(登録漁船数の内数であり、実働動力漁船を最もよく反映した数字)

◎漁港施設の被害状況

現時点において、各道県から報告のあった被害は以下のとおり。被災漁港数及び被害報告額は、今後大幅に増加する見込み。

	全漁港数	被災漁港数	被害報告額
北海道	282	15漁港	1,163百万円
青森県	92	17漁港	2,839百万円
岩手県	111	ほぼ全漁港で壊滅的な被害 (これまで105漁港の被害を確認)	63,382百万円
宮城県	142	全142漁港で壊滅的な被害	187,500百万円
福島県	10	全10漁港で壊滅的な被害	80,973百万円
茨城県	24	15漁港	40,889百万円
千葉県	69	11漁港	1,339百万円

注：被害報告額は、被災漁港のうち現時点で報告のあったもののみであり、今後も大幅に増加する見込み。

義援金のお願い

本会は、この大震災に対する復旧・復興支援のため、義援金のお願いをしております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

(義援金受付口座)

- ・口座名義 「漁港漁場漁村義援金募金口」
(ギョコウギョジョウギョソ
ンギエンキンボキングチ)
- ・金融機関名 三菱東京UFJ銀行 丸の内支店
- ・口座番号 (普) 0082515

3月11日に東日本一帯を襲った東北地方太平洋沖地震は、巨大な津波が沿岸を飲み込み、北海道から千葉県にかけて大きな被害が発生した。特に震源地に近い岩手、宮城、福島の3県は、ほぼ全域にわたって壊滅的な状況となった。

4月11日現在の主な被害状況は次の通り。

◎養殖施設の被災状況

県名	被害を受けた養殖種類	施設被害報告額	養殖物被害額
北海道	・ホタテ、カキ、ウニ、コンブ、ワカメ等	16,562百万円	調査中
青森県	・コンブ、ホタテ	21百万円	5百万円
岩手県	・ホタテ、カキ、コンブ、ワカメ等。施設被害額は 大船渡市で54億円(他地区は調査中)。	5,424百万円	調査中
宮城県	・キンザケ、ホタテ、カキ、ホヤ、コンブ、ワカメ、ノ リ類等	18,680百万円	33,100百万円
福島県	・ノリ類	調査中	調査中
茨城県	・調査中	調査中	調査中
千葉県	・ノリ類	調査中	調査中
神奈川県	・ワカメ等	調査中	調査中
三重県	・マガイ、クマガロ、ホタテ、ノリ類、真珠等	施設・養殖物被害額の合計 3,720百万円	
和歌山県	・マガイ、クマガロ等	82百万円	833百万円
徳島県	・カンパチ、ハマチ、シマアジ、ワカメ等	17百万円	502百万円
高知県	・カンパチ、マガイ、ノリ類等	215百万円	2,114百万円
大分県	・マガイ、ハマチ、シマアジ、ヒラメ	38百万円	175百万円
宮崎県	・ハマチ、アジ、オコノエ等	0.28百万円	6百万円
沖縄県	・メスク	4百万円	30百万円

注：他の記載のない県は現在情報収集中。

◎市場・荷さばき所被害状況(7道県の太平洋側)

現時点において、各道県等から報告のあった被害は以下のとおり。

	全市場数	被災状況 (県等からの報告)
北海道 (根釧、日振勝、道南)	52	被災15ヶ所程度 (浸水、設備破損等)
青森県	7	被災2~3ヶ所 (浸水、設備破損等)
岩手県	13	すべて被災 大半は壊滅的被害。宮古・久慈・大船渡は建屋等 が残存。
宮城県	10	すべて被災 壊滅的被害(全壊、浸水、設備破損等)。
福島県	12	すべて被災 半壊4、建屋・機器の流出5、原発避難地区2
茨城県	9	大半が被災 全壊2、水没1、浸水3など
千葉県	2	一部で被害

◎水産加工施設被害状況(7道県の太平洋側)

	加工場数 (漁業センサス)	主な被災状況
北海道	570	一部地域で被害(半壊4、浸水27)
青森県	119	八戸地区で被害(全壊2、半壊10、浸水32)
岩手県	178	大半が施設流出・損壊(全壊55、半壊6)
宮城県	439	半数以上が壊滅的被害 (全壊290、半壊17、浸水29)
福島県	135	詳細不明
茨城県	247	一部地域で被害(全壊16、半壊47、浸水4)
千葉県	420	一部地域で被害(全壊5、半壊13、浸水12)

※ 被害数は水産加工団体からの聞き取り。

岩手、宮城、福島など甚大な被害

東日本大震災対策本部を設置

大日本水産会

漁村の復興へ、オール水産が連携

(社)大日本水産会は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による、

水産業の被害が甚大なことから、3月13日に被災地に対する緊急支援への



鹿野大臣(右から2人目)に復興支援を求める対策本部の代表

協力、水産分野の復興支援対策の検討、要請活動等を行う「東日本大震災対策本部」(本部長=白須敏朗会長)を設置した。

(社)全国漁港漁場協会としても、オール水産で連携して水産業界、漁村の復興等に取り組む必要があることから、この対策本部の一員として活動している。

犠牲者の冥福祈り黙祷

全国漁港漁場協会第3回理事会

平成22年度第3回理事会が、3月24日午前11時から東京・千代田区の商工会館において、水産庁の橋本牧漁港漁場整備部長を来賓に迎えて開催され、第68回通常総会の開催日程、平成23年度暫定予算等の議案の審議が行

われ、原案通り承認された。冒頭、今回の大震災により犠牲になられた方々のご冥福を祈り、黙祷を行った。

最初に田中潤児会長が、「今月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、広範囲で大津波が起

り、特に太平洋側の3県を始めとして多くの漁港が壊滅的な被害を受けた。犠牲になられた方々のご冥福を祈るとともに、一日も早い復興を願う。被害漁港の水産生産量の国内に占める割合は大きく、被災漁港の復興が無い限り、安全安心な水産

物の供給は困難という状況だ。全国協会としても復興へ向けた支援、要請活動等に全力で取り組むので、各都道府県協会の皆様にも理解と協力をいただきたい。

本日はお示ししている事業計画案、収支予算案はこの大震災により、変更せざるを得ないと考えており、10月に予定していた第63回全国漁港漁場大会の開催も困難と思われる。また、会費については被災県に対する減免措置を考えている。公益法人移行認定申請は認定基準の不明確さ等もあり、具体的な作業に入れない状況であり、今後情報収集に努める」と挨拶した。

続いて、橋本牧漁港漁場整備部長より挨拶とともに用意した資料に基づき震災について次のような説明があった。

「今回の大地震で、多くの方が被害にあわれ、家族を失い財産を失ったが、国としても皆様と力を合わせ、一刻も早く希望の持てる生活が出来るように頑張っていく」と見られ、どの様に片付けて生活するのか、災害復旧の仕組みの見直しも必要と考えている。被災した船を片付け、周辺の要望をしながら、船が入れるような復旧を急がねばならない。漁協関係については養殖施設の復旧など、地区地区でどうするかを総力を上げて早急に行いたい。漁港漁場協会の現地の方々の情報収集に期待する。特に市町村長さんとの密な連絡が必要だ。各組織がそのネットワークを使って協力を願いたい。技術者の派遣についても各県から集まっていたことに、漁港漁場協会も色々な形で協力いただきたい。」

引続き、田中会長を議長として議事に入り、仙頭義寛理事(高知県漁港漁場協会会長)、藤本昭夫理事(社)大分県漁港協会(会長)を議長録音名人に指名した後、議案審議を行った。

はじめに、第1号議案「第68回通常総会開催等について」を審議し、通常総会開催日程を5月25日(水)16時からとすることを決定した。また、総会の付議議案に係る



水産庁の橋本部長(右)挨拶する様子

については、養殖生簀・筏に大きな被害があった。水産庁の心急町村からの現地情報収集、一部の監督船が生産者の捜索に当たり、また物資の輸送等に瓦礫の撤去について、被災エリアの広さは山手線内の6〜7倍と見られ、どの様に片付けて生活するのか、災害復旧の仕組みの見直しも必要と考えている。被災した船を片付け、周辺の要望をしながら、船が入れるような復旧を急がねばならない。漁協関係については養殖施設の復旧など、地区地区でどうするかを総力を上げて早急に行いたい。漁港漁場協会の現地の方々の情報収集に期待する。特に市町村長さんとの密な連絡が必要だ。各組織がそのネットワークを使って協力を願いたい。技術者の派遣についても各県から集まっていたことに、漁港漁場協会も色々な形で協力いただきたい。」

引続き、田中会長を議長として議事に入り、仙頭義寛理事(高知県漁港漁場協会会長)、藤本昭夫理事(社)大分県漁港協会(会長)を議長録音名人に指名した後、議案審議を行った。



宮城県石巻漁港(荷さばき所の被災)

漁業再建へ漁港の復旧急げ

水産庁が岩手・宮城で被害調査

水産庁は、被災者支援のための物流が少しずつ改善していることを受けて、これまで救済物資輸送等に当たっていた水産

現場では、漁港、漁村を始め、漁船や資機材がほぼ壊滅状況であるなかで、既に沈没した漁船の引き上げや打ち上げられた養殖施設から使用可能な資材を回収す

るなど、漁業再建を目指す力強い取組みが始まっております。その拠点となる漁港の復旧を望む声が聞かれるようになってきたことが背景にある。

まず、第1陣として、水産庁、北海道開発局及び(財)漁港漁場漁村技術研究所が、3月26日から31日まで海星丸に乗船して、宮城県石巻漁港及び周辺の地域の調査を行った。

漁港における防波堤の一部消失や消波ブロックの散乱、岸壁や護岸の倒壊、洗掘と沈下、泊地における漁船残骸や瓦礫の浮遊と堆積、漁船や漁具

の流出、漁業関連施設等の消失、瓦礫の堆積、養殖いかだや定置網の流出など惨憺たる状況が報告されている。

また、第2陣は、水産庁、水産工学研究所、北海道開発局(財)漁港漁村技術研究所及び(社)水産土木建設技術センターの担当者が白萩丸及び白鳳丸の2隻に分乗し、4月6日から15日まで、岩手県釜石漁港、宮城県気仙沼漁港等に接岸して地域一体の状況を調査した。

引き続き、当面4月中旬から、第3陣及び第4陣の調査が予定されている。水産庁は、この調査の中で、特に手当てが遅れている市町村漁港の応急復旧工事の支援を視野に入れた調査も検討している。



宮城県石巻漁港(給油タンクの被災)

現場では、漁港、漁村を始め、漁船や資機材がほぼ壊滅状況であるなかで、既に沈没した漁船の引き上げや打ち上げられた養殖施設から使用可能な資材を回収す

るなど、漁業再建を目指す力強い取組みが始まっております。その拠点となる漁港の復旧を望む声が聞かれるようになってきたことが背景にある。

まず、第1陣として、水産庁、北海道開発局及び(財)漁港漁場漁村技術研究所が、3月26日から31日まで海星丸に乗船して、宮城県石巻漁港及び周辺の地域の調査を行った。

漁港における防波堤の一部消失や消波ブロックの散乱、岸壁や護岸の倒壊、洗掘と沈下、泊地における漁船残骸や瓦礫の浮遊と堆積、漁船や漁具

の流出、漁業関連施設等の消失、瓦礫の堆積、養殖いかだや定置網の流出など惨憺たる状況が報告されている。

また、第2陣は、水産庁、水産工学研究所、北海道開発局(財)漁港漁村技術研究所及び(社)水産土木建設技術センターの担当者が白萩丸及び白鳳丸の2隻に分乗し、4月6日から15日まで、岩手県釜石漁港、宮城県気仙沼漁港等に接岸して地域一体の状況を調査した。

引き続き、当面4月中旬から、第3陣及び第4陣の調査が予定されている。水産庁は、この調査の中で、特に手当てが遅れている市町村漁港の応急復旧工事の支援を視野に入れた調査も検討している。



全国漁港漁場協会理事会の様子

引続き、田中会長を議長として議事に入り、仙頭義寛理事(高知県漁港漁場協会会長)、藤本昭夫理事(社)大分県漁港協会(会長)を議長録音名人に指名した後、議案審議を行った。

はじめに、第1号議案「第68回通常総会開催等について」を審議し、通常総会開催日程を5月25日(水)16時からとすることを決定した。また、総会の付議議案に係る

については、養殖生簀・筏に大きな被害があった。水産庁の心急町村からの現地情報収集、一部の監督船が生産者の捜索に当たり、また物資の輸送等に瓦礫の撤去について、被災エリアの広さは山手線内の6〜7倍と見られ、どの様に片付けて生活するのか、災害復旧の仕組みの見直しも必要と考えている。被災した船を片付け、周辺の要望をしながら、船が入れるような復旧を急がねばならない。漁協関係については養殖施設の復旧など、地区地区でどうするかを総力を上げて早急に行いたい。漁港漁場協会の現地の方々の情報収集に期待する。特に市町村長さんとの密な連絡が必要だ。各組織がそのネットワークを使って協力を願いたい。技術者の派遣についても各県から集まっていたことに、漁港漁場協会も色々な形で協力いただきたい。」

功績者や優秀機関など選考

全国漁港漁場協会表彰委員会



漁港漁場協会表彰委員会の様子

【全国漁港漁場協会の表彰委員会が3月24日午前10時30分から千代田区霞が関の商工会館で開催され、都道府県漁港漁場協会から推薦のあった平成23年度表彰候補者の選考を行った。

その結果、功績者候補として漁港漁場協会役員13名、同職員3名、市町村職員21名を選考、また優秀漁港漁場の整備を行った2機関、漁港漁場愛護運動等功績の4団体を表彰候補として選考し

一体となり漁港復興を

全国漁港海岸防災協会22年度理事会

全国漁港海岸防災協会（佐藤孝行会長）は、3月24日午後1時から千代田区霞が関の商工会館で、平成22年度理事会を開催した。

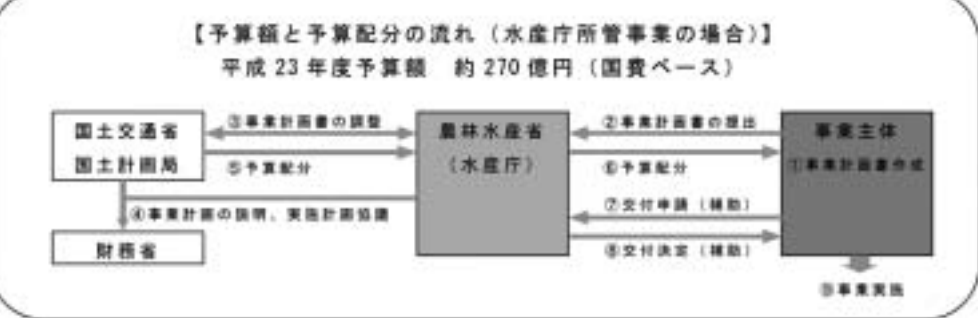
冒頭、欠席の佐藤会長に代わり、鹿田正一専務理事が、現在、青森県から千葉県までの大地震・大津波の被災現場は大混乱の中で、私どもは報道を見ながらやきもきしているだけ、という状況にあるわけですが、今後、復興に向けた動きが本格的に始まっていくものと思っております。その際は、この協会としまして、水産庁を始め多くの関係

団体と連絡を取りながら、また、全国漁港漁場協会と一体となって、力いっぱい役割を果たせるよう努めていく所存ですので、皆様方のご指導ご鞭撻をお願いします。なお、今日は、平成22年度の事業報告、23年度事業計画案などを審議いただき、また、事務局の改選を行います。と挨拶した。

災害対策事業推進費を活用 国交省、第1回配分を募集

【災害対策等緊急事業推進費のポイント】

- 暴風、豪雨、波浪、地震等の自然災害や重大な交通事故が対象
- 公共事業による再度災害防止対策や事故再発防止対策に対する予算支援
- 場合によっては、施設が損傷していなくても対象
- 年度途中で予算配分（一年度3回程度を予定）
- 直轄又は補助事業の所管省庁による個別案件ごとの要求を基に配分額を決定



報告された。後日、全国漁港漁場協会会長から表彰対象者等に決定通知がなされ、第68回通常総会において感謝状等が授与される。表彰委員会の出席者は次のとおり（敬称略）。

委員＝村田駿理事、浅野恒昭理事、仙頭義寛理事、藤本昭夫理事、事務局＝田村信雄理事

おいて自然災害による被害や重大な交通事故が発生した場合、施設管理者として、再度災害防止対策や事故再発防止対策を行うことが、住民・利用者等の安全・安心の確保を図る上で重要ですが、こ

この制度のポイントは、び予算配分の流れは別掲の図のとおりです。本推進費は、各省庁所管の事業を通じて執行されることから、事業主体は、事業を所管する省庁を通じて国土計画局に要求を行って頂き、国土計画局から事業所管省庁を通じて予算が配分されます。水産庁所管事業では、水産基盤整備事業や海岸保全施設整備事業等が対象となっています。

現在、平成23年度第1回配分の募集中です。自然災害や交通事故が発生し、その対応について検討される際に、本制度の活用も併せてご検討いただき、住民や施設利用者等の安全・安心の確保の一助となれば幸いです。

この制度に関する質問・ご相談がありましたら、国土交通省国土計画調整課（☎03・5253・8367）まで遠慮なくお問い合わせください。

また、ホームページ（http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/koku-dokeikaku_tk4_000002.html）にも、この制度に関する情報を掲載していますのでご覧ください。

なお、本制度の詳しい内容や活用事例については、雑誌「漁港」（4月号）で紹介いたします。

水産庁人事異動

（三月三十一日）
退職者＝手島農林水産部 漁港漁村課技師（計画課計画班企画係長）高師 拓也、退職千葉県銚子漁

港事務所技師（防災漁村課）辻廣志、退職三重県農水商工部農水商工総務室企画調整グループ主任（計画課調査班調査実施係長）藤島弘幸、退職長崎県五島振興局農林水産部水産課係長（計画課）山崎将志

（四月一日）
【漁港漁場整備部への転入】
計画課へ
計画課長補佐・企画班担当（内閣府沖縄総合事務局農林水産部林務水産課漁業監督指導官）小林 聖治、計画課長補佐・管理班担当（増殖推進部研究指導課長補佐・普及育成班担当）宮内信幸、計画課長補佐・環境整備班担当（北海道漁業調整事務所資源課長）澤田龍治、計画課長補佐・北海道漁業調整事務所漁業監督課課長補佐（資源管理班）矢島由美子、総括班調整係長（資源管理部沿岸沖合課沿岸調整班内水面調整係長）秋町貴美子、計画班企画係長（国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所品質管理課技術

課長補佐・総括班担当（漁政部水産経営課併任（漁政部水産経営課併任（漁政部水産経営課併任）光富喜一郎、課長補佐・漁村企画班担当（中国四国農政局総務部厚生課長）清水昭彦、施設管理指導官（境港漁業調整事務所資源管理計画官）三上清人、総括班企画法令係長（資源管理部管理課TAC班資源計画係長）原村新一、環境整備班計画係長・農村振興局整備部農村整備官付任（漁政部漁政課人事班人事第3係長）武下久恵、防災漁村課（九州漁業調整事務所総務課）守田裕美、防災漁村課（若手農林水産部漁港漁村課技師）久田貴司

新規採用
計画課今田亨、防災漁村課中村友紀

審査係長）安田大樹、調査班調査実施係長（北海道水産林務部水産局漁港漁村課漁港漁村計画グループ主任）後藤朝子、計画課・漁政部漁政課併任（漁政部漁政課）坂侑子、計画課（増殖推進部漁場資源課）正岡克洋

整備課へ
漁港漁場専門官（大臣官房情報評価課監査官）橋本守布、海外水産土木専門官（大臣官房国際部国際協力課海外技術協力官）藤田智輝、総括班調整係長（総合食料局流通課中央市場業務班業務第3係長）本多靖孝、整備班地域整備係長（国土交通省港湾局技術企画課技術監理室性能規定係長）浅見能章

防災漁村課へ
課長補佐・総括班担当（漁政部水産経営課併任（漁政部水産経営課併任）光富喜一郎、課長補佐・漁村企画班担当（中国四国農政局総務部厚生課長）清水昭彦、施設管理指導官（境港漁業調整事務所資源管理計画官）三上清人、総括班企画法令係長（資源管理部管理課TAC班資源計画係長）原村新一、環境整備班計画係長・農村振興局整備部農村整備官付任（漁政部漁政課人事班人事第3係長）武下久恵、防災漁村課（九州漁業調整事務所総務課）守田裕美、防災漁村課（若手農林水産部漁港漁村課技師）久田貴司

新規定用
計画課今田亨、防災漁村課中村友紀

【漁港漁場整備部内の異動】
整備課
課長補佐・施工積算班担当（漁港漁場専門官）犬塚良一、漁政部漁政課政策評価班評価第2係長（総括班調整係長）大隈寛子、漁政部企画課漁業労働班労働係長（調整班調整係長）長野正嗣、国土交通省九州地方整備局港湾空港部港湾事業企画課施設維持管理係長（整備班地域整備係長）田添賢治、国土交通省九州地方整備局宮崎港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官（課長補佐・施工積算班担当）谷口君洋

防災漁村課から
漁政部漁政課課長補佐・主計班担当（課長補佐・漁村企画班担当）下迫田裕一、漁政部漁政課課長補佐・調整（施設管理指導官）池田透、漁政部水産経営課長補佐・総括班担当・防災漁村課併任（課長補佐・総括班担当）佐藤良助、漁政部漁政課人事班人事第1係長（環境整備班計画係長）泰磨孝、漁政部加工流通課貿易第1班輸入業務係長（防災漁村課）小林真一郎、国土交通省都市・地域整備局離島振興課課長補佐（課長補佐・環境整備班担当）中村克彦、国土交通省河川局河川計画課河川情報企画室情報分析係長（海岸班計画係長）山口正裕、国土交通省北海道農林水産課開発専門官（災害査定官）牧野稔智、境港漁業調整事務所資源管理計画官（総括班企画法令係長）黒田博之、瀬戸内海漁業調整事務所調整課防災漁村課（石井俊行

都道府県人事異動

本所課長級以上

人事異動(四月一日付) 及び三月三十一日)

【青森県】

農林水産部長(商工労働部次長) 洪谷義仁 農林水産部水産局長(農林水産部) 宝多森夫 農林水産部次長(農林水産部) 樋口浩文 農林水産部水産局長(農林水産部) 長内隆次

【岩手県】

農林水産部長(農林水産部) 東大野潤一 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【富山県】

農林水産部次長(文化振興課長) 朝倉隆文 農林水産部水産局長(農林水産部) 朝倉隆文 農林水産部水産局長(農林水産部) 朝倉隆文

【新潟県】

農林水産部次長(水産課長) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【山形県】

農林水産部長(村山総合支庁) 菅野滋 農林水産部水産局長(農林水産部) 菅野滋 農林水産部水産局長(農林水産部) 菅野滋

水産部技術戦略監兼次長(農業総合研究所) 北川守 農林水産部生産技術課長(生産技術課) 庄内総合支庁産業経済部水産課漁港整備主任(都市計画課) 補佐(西塚祐司) 退職(農林水産部長) 齋藤亮一 退職(農林水産部技術戦略監) 斎藤亮一 退職(農林水産部技術戦略監) 斎藤亮一

【鳥取県】

水産振興局長(境港水産事務所) 松澤以尚 農林水産部次長(農林水産部) 松澤以尚 農林水産部次長(農林水産部) 松澤以尚

【岡山県】

農林水産部水産課長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【広島県】

農林水産局長(農林水産部) 中村道人 農林水産部水産局長(農林水産部) 中村道人 農林水産部水産局長(農林水産部) 中村道人

【山口県】

農林水産部長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【高知県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

農林水産部長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【佐賀県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【長崎県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【熊本県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【鹿儿岛県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【沖縄県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【佐賀県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【長崎県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【熊本県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【鹿儿岛県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【沖縄県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【佐賀県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【長崎県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【熊本県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【鹿儿岛県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【沖縄県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【佐賀県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【長崎県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【熊本県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【鹿儿岛県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【沖縄県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【佐賀県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【長崎県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【熊本県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【鹿儿岛県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

【沖縄県】

農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭 農林水産部水産局長(農林水産部) 藤田利昭

漁港往来 自3月1日 至3月31日 青森県農林水産部水産局漁港整備課 長新山英邦氏

認定漁港は全国で32に

フィッシャリーナ認定委員会

第4回フィッシャリーナ認定委員会が、3月30日午後1時30分から東京・港区の三会堂ビルで開催された。今回の委員会は、(社)全国漁港漁場協会がフィッシャリーナに関する業務を行うことになってから2回目の委員会、漁港管理者又は指定管理者が

次の4つの要件を満たす。①一般市民とのふれあいの場を有していること、②プレジャーボート等の係留・保管施設を有すること、③漁港内で一般市民が安全かつ自由に往来できる区域が明確であること、④原則として便所及び駐車場を有すること。今回の委員会では、申請が出されていた高知県吉川漁港、富山県水橋漁港、和歌山県内の浦漁港、大分県大海田漁港の4漁港について認定審査を行った。審査は事前に提出された申請書類をもとに行われ、申請のあった4漁港とも認定要件を満たしていることから、フィッシャリーナに認定した。今回の認定により、全国でフィッシャリーナに認定された漁港数は32となった。